

地域研究所が地域に果たす役割 ～過去・現在・未来～

北海学園大学開発研究所が地域で果たす役割は、益々重要になってきています。今回の講演会では、島根大学法文学部山陰研究センターが取り組んできた人文・社会科学系の地域総合研究所としての歩みと成果、課題について話題提供していただきます。その後、当研究所の役割について意見交換して、今後の活動のあり方や方向性を考えていきます。

ご関心のある方は、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

日時：2022年3月24日（木）15:00～17:30

会場：北海学園大学教育会館1階 AV4教室

プログラム

※2月1日に開催予定でしたが、オミクロン株の感染拡大を受けて、延期しました。

◆講演「島根大学法文学部山陰研究センターの経験」

田中則雄さん（島根大学法文学部教授／前センター長）

●講師紹介

鳥取県出身。京都大学大学院文学研究科博士課程修了、博士（文学）。専門は日本近世文学。主著に、『読本論考』（汲古書院、2019年）、『出雲地域の学問・文芸の興隆と文化活動』（共著、今井出版、2018年）、『雲陽秘事記と松江藩の人々』（松江市教育委員会、2011年）、他多数。



◆意見交換「開発研究所の将来を考える」

主催：北海学園大学開発研究所

お問い合わせ・お申込み（締切：3月22日）

011-841-1161（内線 2254）E-Mail: kaihatsu@hgu.jp

申込みフォーム <https://forms.gle/ivF6FLaPuRvXH9Gt7>

※新型コロナウイルスの感染拡大等に伴い、オンライン開催など開催方式の変更等の判断を行う場合、お申込みいただいた方にご連絡させていただきます。



申込みフォームの
QRコード